

(仮称)総合保健センター整備事業概要

1 事業の背景

(1) 保健施策

医療費抑制を目的とした国の制度改革により、疾病予防を重視し国保など医療保険者に対して健診・指導が義務付けられた。市民の健康意識は高まり、運動習慣の定着や食生活改善に大きな関心を示しており、各保健センターの機能集約と役割分担を図り少子高齢化社会に対応した健康づくり支援体制の整備が必要となっている。また、現在の上田地域保健センターは、国の施策による事業拡大及び新市誕生による基幹機能を持たせるには狭隘であり、施設・設備の充実が急務である。

(2) 子育て支援施策

急速な少子化の進行や地域・家庭環境の変化により、家庭での教育力や地域における子育ての力が低下してきている中で、子どもたちが健やかに育つよう支援していく体制の整備が必要となっている。

(3) 低未利用地の有効活用と中心市街地活性化

市全体の発展に向けた新しいまちづくりに向け、大規模な低未利用地を有効活用し、活性化の拠点として整備していく必要がある。

2 事業の位置付け

上田市医師会及び上田保健所に近接する旧第一中学校跡地に、少子高齢化社会に対応した保健施策と子育て支援施策を推進し、合併や制度改正に対応する新市全体を包括した事業展開を図るため、上田地域保健センターを含む基幹保健センターとこどもセンターを一体化した(仮称)総合保健センターを整備する。(仮称)総合保健センターは市民が気軽に利用できるものとして整備し、多くの市民が利用することにより市街地への回遊の拠点として活性化にも寄与する。

3 事業概要

(1) 基幹保健センター兼上田地域保健センター

基幹保健センターは、各地域保健センターとの連携により全市民対象の効果的な健康づくり施策を展開する。

- ア 全市的な課題等への取り組みに関する企画・立案、調整・統括及び啓発などの情報発信
- イ 助産師、作業療法士、歯科衛生士など専門的な職種による実施が必要な事業
- ウ 地域保健センターでは施設的な面で実施が困難な事業

上田地域保健センターは、地域に密着した各種保健事業を展開する。

(2) こどもセンター(子育て支援センター・発達支援センター)

子育て・子育てを総合的にとらえた拠点「こどもセンター」として位置づけ活用していく。

ア 子育て支援センター

市内6か所の子育て支援センターの中核的役割を担い、子育ての不安や孤立感を解消するための常設親子ひろば事業や情報提供機能、活動拠点(サークル支援)としての機能の充実を図る。

イ 発達支援センター

発達支援に関する常設の相談窓口の設置をはじめ、発達障害等で支援を必要とする子どもの成長段階に合わせた関係機関の連携や各種支援事業を実施する。

(3) 子どもに関わる相談の連携(健康福祉部・こども未来部・教育委員会)

子どもに関する相談窓口を集約し、心配ごとはここにきて相談すると解決の糸口が見つかるような場とする。

- ア 妊産婦相談、乳幼児相談、栄養相談、歯科相談、こころの相談、発達相談等
- イ 保育園に関する相談、虐待予防及び要保護児童に関する相談、ひとり親相談等
- ウ 不登校及び就学相談等(教育相談所)

4 整備場所 上田市中心 6-5-45(旧第一中学校跡地)

5 敷地面積 22,427 m²のうち約 10,000 m²

6 施設概要

(1) 建築面積 約 2,100 m²(延べ床面積約 3,200 m²)

(2) 構造 鉄骨造 二階建て

(3) 内容 *基幹保健センター兼上田地域保健センター(約 1,150 m²)

診察室、問診スペース、相談室(母乳育児、妊婦等)、集団指導室、計測スペース、調理室、食育ルーム、感染症対策室、トレーニング室兼機能回復訓練室、多目的室兼スタジオ 等

*こどもセンター(約 650 m²)

親子広場、発達支援室、相談室、観察室、子どもカルテ室 等

*教育相談所(約 80 m²)

相談室、事務室

*共用部分(約 1,320 m²)

ホール、事務室、会議室、トイレ(多目的等)、授乳室、エレベーター、更衣室、階段 等

7 事業費

(1) 平成 20 年度 32,000 千円

*用地測量業務等(予算 4,988 千円)

ボーリング調査業務委託先：総合地質コンサルタント(株)

用地測量業務委託先：(株)高山

*実施設計等(予算 27,012 千円)

実施設計業務委託先：竹原一級建築士事務所

(2) 平成 21 年度 800,000 千円(予定)

8 今後の予定

H21.4 工事費当初予算計上

.5 施設建設工事入札

.6 施設建設工事請負契約議決・締結

.7 施設建設工事開始

.11 外構工事

H22.3 竣工